

# 寄稿 飯南町への想い

飯南町に住んで3年目を迎えることとなりました。移住前は、福岡県北九州市に住んでいました。

以前から田舎暮らしに興味があり、5月に富士山に遊びに行った事がきっかけで、田舎暮らしを決意しました。ここを訪ねたのが6月です。

最初に飯南町を訪れた時は、涼しくて空気がおいしかったことをおぼえています。「川が澄んでいて、山が近くにある町」っていいなあと思って思いました。

飯南町に住んで、ミミズや蛙を見て驚かなくなりました。土いじりをする、必ず出てくるので驚いてる場合ではありません。それだけ、虫たち



向山さんの家族

飯南町上来島 向山 辰夫

にとつて、おいしくて、住みやすい大地なんですよ。

日々の健康法には、スポーツジムの代わりに、草刈、薪割り。冬は、雪かきを大変たいへんといいながらも楽しんでいきます。

飯南町は水がおいしいです。もちろん、野菜も島根和牛もやまめもおいしいです。

福岡時代は、車で1時間かけて飲める水をもとめて汲みにいってました。

PCの仕事をしているため、目を休めるのに窓から見える景色は最高です。山は季節を教えてくれます。

BGMは、鳥のさえずり、蛙の合唱など、虫の声・雨の音・雪の音、いろんな音が聞こえてきます。都会の騒音とは違って、心地よい音です。

夜景は、人工のネオンではなく、満天の星と夏はホタル、冬は月が照らす雪の輝きです。

何よりも、子供が子供らしくなってくれた事が飯南町に来て一番よかった事です。以前は仕事の都合で、大人の人と接する事が多かったため、大人びていたと思います。

交通量の多いところに住んでいたため、外に一人で出か

けさせることができませんでした。

飯南町では、近所のお兄さんお姉さんが妹のようにかわいがってくれるので、子供らしくのびのび遊ぶ事ができ、自然の中で、たくましく育ってくれています。

春と秋には、農事組合法人の眞栄グループとトータル・サポート・プランナー(株)の主催するイベントに参加させていただいています。

移住して来た当初からお世話になっており、田植え、稲刈り、とうふ作りなどなど貴重な体験を毎回楽しませていただいています。毎回、笑顔で迎えてくれるんです。

ぼたん祭りにいったり、半夏祭りにいったりと飯南町内でのイベントも楽しませてもらっています。「お仕事戦隊イソガシンジャー」に会えるのを子供と楽しみにしています。

自治会に入ることであるるな誘いをいただき、充実した日々をおくっています。

「住めば都」って言葉を実感しています。都会では決して手にいれる事のできない飯南町での暮らしを、これからも楽しんでいきたいと思います。

6/28

## 町民健康ウォーク大会

「飯南町まめなウォーカーの会」主催によるウォーク大会開催され、来島会場(6kmコース)では男女27名が参加しました。



7/3

## 半夏子牛共進会

景山道善さん(花栗)の愛牛が首席になりました。



## 編集後記

振り返れば、4年の月日は短く、支持者の皆さんに支えられ、選挙を戦った日がついにこの前のような気がします。

議員ひとりひとりが新町建設に志を持ち、それぞれのテーマに取り組んできました。それもとわずかで任期を迎えます。

一般質問では10人が最後の質問に立ち、町政に自分の志を反映させようと、執行部にぶつかり、執行部は全身でこれを受け止めた、4年間でもっとも緊張感のある一般質問でした。

7月の選挙で次も議会に送り出される人、議会を辞する人、それぞれに志を持ち、町民の皆さんの幸せを願い、ひとつのチームとして町政を担って来ました。このような経験をさせていだいたことに感謝し、心からお礼を申し上げます。

門 眞一郎

議会広報編集委員会

- 委員長 石橋 宏
- 副委員長 門 眞一郎
- 委員 小野 覚
- 委員 長島 正一
- 委員 難波伸一郎

